

2012年晩秋の八重山訪問で、ようやく自然状態でのメス個体の撮影記録が撮れ、2017年になってやっと♂の翅表を記録できた。以下、過去の蝶紀行の関連部分を抜粋するなどして紹介する。



石垣島伊原間:♀



石垣島平久保:♀



石垣島川平:♀

筆者が初めて沖縄・八重山を訪れたのが1993年9月で、本種とは石垣島のバナナ公園裏手の小道沿いでの出会いが最初。その後、与那国島で新鮮な美麗オスにも出会っているが、あの渋い翅表の濃紫色を撮影記録することにはいまだ成功していなく、2017年の個体は青みが強い♂だった。

#### Sep. 4, 1993 初めての石垣島：バナナ植物公園

沢を越えて緩やかな坂道を左に登りきるあたりから木陰道となって両側にハイビスカスの並木が続く。その根元一带にセンダングサが咲く道路沿いではヒメウラナミシジミがチラチラと遊んでいるがツマベニチョウはきわめて少ない。黒っぽくてすばやい動きのシジミチョウを捕らえてみると美しいルリウラナミシジミ。アマミウラナミシジミも混じる（注：2007年の訪問時、この裏手小道は荒れたブッシュに変貌していた）。

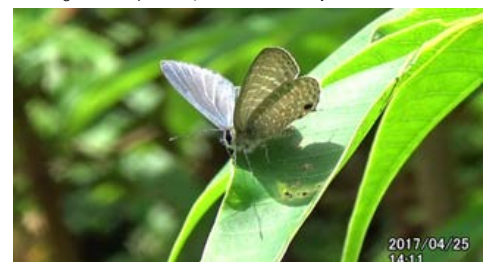
#### Sep. 17, 2004 与那国島

ティンダハナタの「ゆうゆう広場」近くまでもどって、林に隠れたコンクリート広場にカメラ以外の荷物をリュックにまとめて放置し、自転車も一昨年ヤギがいた小屋横にとめてオジロシジミのいた草むらまで上る。草むらの奥でオジロシジミとは明らかに異なるシジミチョウの飛翔が目に入り、踏み込んでよくみるとアマミウラナミシジミだ。新鮮なオスで、最近ではルリウラナミシジミの輝きばかりを見てきたせい、じっくりと渋いダークブルーがとても美しい。

#### Apr. 25, 2017 沖縄本部半島

午後に加古川の蝶友に教えてもらった大宜味村押川地区で蝶観察。道路沿いにハイビスカスの花が多く風当たりの少ないチョウのたまり場を探して車をとめる。ジャコウアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハなどが

蝶道を形成して飛ぶ絶好のポイントをみつけたが、撮影ターゲットとなってくれる個体が少なく、このポイントでテリハリ中のアマミウラナミシジミに



的を絞って開翅タイミングをまつ。新鮮なオス個体が縄張り領域に入るチョウに対してすぐにスクランブル飛翔を仕掛けては舞い戻る。戻る位置はかならずしも同じではないが、すぐに確認できるていどの範囲内での行動だ。